

神戸市鶴越斎場建替計画（案）に関する市民意見募集の結果

1. 募集期間 令和4年12月12日（月）から令和5年1月20日（金）まで

2. 提出意見数 2名、14件

- ・運営に関すること 8件
- ・平面計画に関すること 6件

※意見は趣旨を損なわない程度に要約

○運営に関すること（8件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	年間稼働日数について、平均350日と算出されていますが、今後、稼働日数は維持されますか、それとも削減されますか。	年間稼働日数は、将来の火葬需要の増加などにより変更する可能性はありますが、現時点では平均350日を継続することを想定しています。
2	火葬の受入時間について、9:15～11:15がメインの時間帯と考えます。また、受入を均等に行うのか、その時間帯を多く受入れするのか不明です。	火葬スケジュールは、火葬が滞りなく実施できるよう、今後、民間活力の導入にかかる事業者提案も踏まえ、決定していきます。現時点の考え方は以下のとおりです。  ・受付時間は、9時～16時と想定しています。メインの時間帯としては、現斎場の受付時間である10時～15時台の利用が多いと想定し、その時間帯を多く受付することを想定しています。
3	現斎場では、火葬の受入間隔1時間に対して、入場する時間を30分間、入らない時間を30分間にしているから現場の混乱はないが、全ての時間に入場させると現場は必ず混乱します。	・受入間隔は、火葬件数の増加に対応するため20～30分とし、入場する時間と入らない時間を設けることは想定していません。30炉を5ユニットに分けて、同一時刻の受入は1ユニット1件とし、各ユニット内で基本的な動線を完結させることで、円滑な受入を想定しています。
4	火葬炉のユニット毎の稼働内容が理解できません。できれば稼働させて、全体的に余裕を持たせてほしい。また、告別時間帯の到着における猶予時間をどれくらい設けるのかを知りたい。	・火葬炉の稼働内容は、1ユニット6炉のうち同時稼働は3炉と想定しています。コンパクトな平面計画が求められること、コストが下がることから、「2炉1系統」を想定しているためです。告別時間帯の到着までの猶予時間は、約20～30分程度と想定しています。

5	新斎場の職員の方にはどこまでの業務を行っていただけますか。 一例) ・ご遺族の到着時～炉前～控室の案内誘導 ・食事会場があるとして、食事室の片付けや掃除 等	職員の業務内容は、現状と同程度と考えており、付き添う案内誘導は想定しておりませんが、待合室の清掃は行います。 詳細は、今後、民間活力の導入にかかる事業者提案も踏まえ、決定していきます。
6	駐車場の空きスペースを探して駐車して長い距離を歩いて炉の前まで来るのに時間がかかるため、駐車場誘導係（警備員）を配置するなどしていただきたい。	駐車場からの誘導や場内の案内放送は、来場される方が分かりやすいものにしていきます。 詳細は、今後、民間活力の導入にかかる事業者提案も踏まえ、決定していきます。
7	細かく場内放送をするなどして、来場者が混乱しないような案内体制を取ってほしい。	
8	待合室で「お酒を飲めるのか」「使用料」などを事前にお知らせいただきたい。冷蔵庫やポットの設置があれば望ましい。	飲酒及び使用料などの待合室の利用方法や備品等については、開設時までにご案内します。

○平面計画に関すること（6件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	新斎場で食事を召し上がっていただく場所は十分にありますか。食事を置いておくスペース、複数の水まわりはありますか。	<p>平面計画の詳細は、全ての方が快適に利用できるよう、今後、民間活力の導入にかかる事業者提案も踏まえ、決定していきます。現時点の考え方は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を召し上がっていただく場所やその付帯設備・機能は十分に設置することを想定しています。</li> <li>・喫茶軽食コーナーや葬儀社の従業員の待機に必要なスペースについては十分に確保することを想定しています。</li> <li>・身体障害者用の駐車場の屋根は、ユニバーサルデザインに配慮し、今後検討していきます。</li> </ul>
2	2階の荷物用EVが小さく見えます。広くしていただくか、2台体制が望ましい。	
3	喫茶軽食コーナーの需要が多くなると思われますが、狭いように思います。	
4	葬儀社の従業員の待機場所はありますか。それなりの広さが必要。	
5	身体障害者用の駐車場を屋根のある場所にしてほしい。	
6	告別・見送り・収骨を行う部屋の配置について、全て同じ部屋で行う「炉前個室型」を◎評価としているが、プライバシーの確保の面からは、総合評価が○の「収骨分離型」（告別と見送りを告別室、収骨は収骨室で行う）の方が望ましい。	